



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 株式会社アシックス

上場取引所 東

コード番号 7936 URL <http://www.asics.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 尾山 基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 加藤 勲

TEL 078-303-2213

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	238,259	25.1	23,550	43.6	24,975	47.4	14,973	19.6
25年3月期第3四半期	190,499	2.3	16,397	△2.6	16,944	10.3	12,519	42.9

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 25,480百万円 (81.7%) 25年3月期第3四半期 14,024百万円 (201.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	78.98	78.98
25年3月期第3四半期	66.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	272,198	153,272	55.8
25年3月期	244,725	138,078	53.1

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 151,889百万円 25年3月期 129,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	12.00	12.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	327,000	25.7	25,500	36.6	25,500	24.2	15,000	8.9	79.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	199,962,991 株	25年3月期	199,962,991 株
26年3月期3Q	10,377,980 株	25年3月期	10,373,487 株
26年3月期3Q	189,587,088 株	25年3月期3Q	189,591,023 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成26年2月4日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
4. 補足情報 .....	12
(1) 連結分類別売上高明細表 .....	12
(2) 地域別売上高 .....	12
(3) 在外子会社為替換算レート .....	13
(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の金融緩和縮小による影響など、先行きに留意する必要があるものの、弱い回復が続き、底堅さも見られました。日本経済は、各種政策の効果が発現するなかで、企業収益および雇用の改善などにより緩やかに回復しました。

スポーツ用品業界は、健康志向によるスポーツへの関心の高まりやランニングブームを背景に、堅調に推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、中期経営計画「アシックス・グロース・プラン (AGP) 2015」に基づき、引き続きグローバルレベルでの事業の強化・拡大を図りました。高機能ランニングシューズ「GEL-NIMBUS 15」、「GEL-CUMULUS 15」、「GEL-KAYANO 20」の市場投入や、ランニングウェアを中心としたアパレルの拡充をグローバルレベルで行うなど、製品力の強化に努めました。

マーケティング面におきましては、世界各地のマラソン大会への協賛、モスクワで行われた世界陸上競技選手権大会における日本を含む世界7カ国の代表選手への当社製品の提供、南アフリカ共和国ラグビー協会およびオーストラリアラグビー協会との製品提供に関する契約の締結、米国MLB (メジャーリーグベースボール) のダルビッシュ有選手とのアドバイザー契約の締結など、ブランド価値および企業イメージの向上に努めました。

販売面におきましては、メキシコに販売子会社を設立するとともに、大阪、シドニーにアシックスブランドの旗艦店を、シドニー、神戸にオニツカタイガーブランドの旗艦店をそれぞれオープンしたほか、世界共通のITプラットフォームに基づくEコマースサイトを立ちあげ、米国、日本、英国で販売を開始するなど、売上拡大に努めました。

また、外国人経営幹部の登用や海外でのグローバル会議の開催を行い、グローバルレベルでの執行体制を整備するなど、経営基盤の強化に努めました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は238,259百万円と前年同期間比25.1%の増収となりました。このうち国内売上高は、主にランニングシューズおよびベースボール用具が好調であったことに加え、自主管理売場の拡大に伴いウォーキングシューズおよびオニツカタイガーシューズが堅調に推移したことなどにより、66,245百万円と前年同期間比4.2%の増収でした。海外売上高は、米州および欧州などでランニングシューズが好調に推移したことおよび為替換算レートの影響により、172,013百万円と前年同期間比35.5%の増収となりました。

売上総利益は主として売上高が増加したことにより、106,450百万円と前年同期間比30.3%の増益となりました。販売費及び一般管理費は、主に広告宣伝費および韓国子会社における支払手数料が増加したことなどにより、82,900百万円と前年同期間比27.0%の増加となり、営業利益は23,550百万円と前年同期間比43.6%の増益となりました。経常利益は為替差益が増加したことなどにより、24,975百万円と前年同期間比47.4%の増益となりました。四半期純利益は旧関東柏配送センターの土地売却による固定資産売却益などを計上しましたが、前年同期間に法人税等還付税額を計上したことなどにより、14,973百万円と前年同期間比19.6%の増益となりました。

報告セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、前第4四半期連結会計期間より、日本地域においてセグメント区分を変更しておりますが、前第3四半期連結累計期間について変更後の区分方法による作成が困難なため、比較を行っておりません。

#### ① 日本地域

日本地域におきましては、売上高は81,965百万円となり、セグメント利益につきましては909百万円となりました。

#### ② 米州地域

米州地域におきましては、ランニングシューズが好調であったことおよび為替換算レートの影響により、売上高は70,299百万円 (前年同期間比37.1%増、前年度の為替換算レートを適用した場合13.4%増) となり、セグメント利益につきましては原価率の改善などにより、8,165百万円 (前年同期間比76.4%増、前年度の為替換算レートを適用した場合45.9%増) となりました。

#### ③ 欧州地域

欧州地域におきましては、ランニングシューズが好調であったことおよび為替換算レートの影響により、売上高は66,382百万円 (前年同期間比36.4%増、前年度の為替換算レートを適用した場合10.0%増) となったものの、セグメント利益につきましては仕入コストにかかる為替レートの影響および直営店の新規出店による販売費及び一般管理費の増加などにより、7,915百万円 (前年同期間比19.4%増、前年度の為替換算レートを適用した場合3.7%減) となりました。

④ オセアニア地域

オセアニア地域におきましては、ランニングシューズが好調であったことおよび為替換算レートの影響により、売上高は10,827百万円(前年同期比32.6%増、前年度の為替換算レートを適用した場合15.9%増)となり、セグメント利益につきましては2,442百万円(前年同期比37.8%増、前年度の為替換算レートを適用した場合20.5%増)となりました。

⑤ 東アジア地域

東アジア地域におきましては、為替換算レートの影響および韓国子会社において最終消費者への販売価格で売上高を計上したことの影響により、売上高は16,648百万円(前年同期比74.1%増、前年度の為替換算レートを適用した場合39.9%増)となり、セグメント利益は1,360百万円(前年同期比74.1%増、前年度の為替換算レートを適用した場合40.2%増)となりました。

⑥ その他事業

その他事業におきましては、ホグロフスブランドのアウトドアシューズおよびアウトドアウェアが堅調であったことに加え為替換算レートの影響により、売上高は7,921百万円(前年同期比31.5%増、前年度の為替換算レートを適用した場合4.8%増)となり、仕入コストにかかる為替レートの影響などにより、セグメント損失は406百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産272,198百万円(前連結会計年度末比11.2%増)、負債の部合計118,925百万円(前連結会計年度末比11.1%増)、純資産の部合計153,272百万円(前連結会計年度末比11.3%増)となりました。

流動資産は、たな卸資産の増加などにより、199,625百万円(前連結会計年度末比13.0%増)でした。

固定資産は、アシックスジャパン株式会社新社屋の建設に伴う建設仮勘定の増加による有形固定資産の増加および当社の連結子会社であるアシックス商事株式会社の株式を追加取得したことに伴うのれんの計上による無形固定資産の増加などにより、72,572百万円(前連結会計年度末比6.7%増)でした。

流動負債は、仕入債務および短期借入金の増加などにより、74,209百万円(前連結会計年度末比15.9%増)となりました。

固定負債は、長期借入金および長期デリバティブ負債の増加によるその他の負債の増加などにより、44,715百万円(前連結会計年度末比4.9%増)でした。

株主資本は、利益剰余金の増加により、147,459百万円(前連結会計年度末比9.5%増)でした。

その他の包括利益累計額は、為替換算調整勘定の増加などにより、4,429百万円と前連結会計年度末に比べ9,242百万円増加しました。

少数株主持分は、当社の連結子会社であるアシックス商事株式会社の株式を追加取得したことにより、1,373百万円(前連結会計年度末比83.2%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関する事項については、本日(平成26年2月4日)公表の「平成26年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項がないため記載しておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,420	31,736
受取手形及び売掛金	70,600	75,661
有価証券	2,472	2,191
商品及び製品	54,491	74,260
仕掛品	329	367
原材料及び貯蔵品	1,118	1,166
繰延税金資産	4,835	5,614
その他	8,024	11,210
貸倒引当金	△2,593	△2,582
流動資産合計	176,698	199,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,154	29,796
減価償却累計額	△20,019	△18,896
建物及び構築物 (純額)	11,135	10,900
機械装置及び運搬具	4,642	4,842
減価償却累計額	△3,633	△3,818
機械装置及び運搬具 (純額)	1,008	1,023
工具、器具及び備品	14,895	17,043
減価償却累計額	△9,353	△10,599
工具、器具及び備品 (純額)	5,542	6,444
土地	10,048	9,602
リース資産	4,890	5,828
減価償却累計額	△1,519	△1,970
リース資産 (純額)	3,370	3,857
建設仮勘定	539	2,010
有形固定資産合計	31,644	33,839
無形固定資産		
のれん	4,964	5,951
その他	12,941	13,725
無形固定資産合計	17,906	19,677
投資その他の資産		
投資有価証券	9,375	9,302
長期貸付金	399	386
繰延税金資産	1,174	1,472
その他	8,027	8,403
投資損失引当金	—	△74
貸倒引当金	△500	△433
投資その他の資産合計	18,476	19,056
固定資産合計	68,026	72,572
資産合計	244,725	272,198

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,973	29,649
短期借入金	11,479	17,596
リース債務	560	645
未払費用	10,796	10,221
未払法人税等	3,192	4,699
未払消費税等	906	1,304
返品調整引当金	605	403
賞与引当金	2,295	829
繰延税金負債	31	174
資産除去債務	3	1
その他	7,185	8,684
流動負債合計	64,028	74,209
固定負債		
社債	16,000	16,000
長期借入金	8,305	8,721
リース債務	3,029	3,418
退職給付引当金	8,405	8,694
繰延税金負債	3,917	3,762
資産除去債務	711	791
その他	2,249	3,326
固定負債合計	42,618	44,715
負債合計	106,646	118,925
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,972	23,972
資本剰余金	17,182	17,182
利益剰余金	101,368	114,136
自己株式	△7,823	△7,831
株主資本合計	134,699	147,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,327	2,688
繰延ヘッジ損益	1,050	250
在外子会社資産再評価差額金	287	217
為替換算調整勘定	△8,476	1,273
その他の包括利益累計額合計	△4,812	4,429
新株予約権	—	8
少数株主持分	8,191	1,373
純資産合計	138,078	153,272
負債純資産合計	244,725	272,198



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	190,499	238,259
売上原価	109,187	132,047
返品調整引当金戻入額	580	547
返品調整引当金繰入額	221	308
売上総利益	81,670	106,450
販売費及び一般管理費	65,273	82,900
営業利益	16,397	23,550
営業外収益		
受取利息	323	324
受取配当金	181	193
為替差益	343	1,140
負ののれん償却額	5	—
その他	391	481
営業外収益合計	1,246	2,140
営業外費用		
支払利息	521	497
その他	177	217
営業外費用合計	699	714
経常利益	16,944	24,975
特別利益		
固定資産売却益	146	425
投資有価証券売却益	96	327
投資有価証券償還益	6	—
法人税等還付加算金	190	—
特別利益合計	440	753
特別損失		
固定資産売却損	19	1
固定資産除却損	34	23
投資有価証券評価損	53	51
投資有価証券売却損	6	25
投資有価証券償還損	6	—
子会社工場閉鎖損失	—	256
特別損失合計	119	359
税金等調整前四半期純利益	17,265	25,369
法人税等	5,794	9,310
法人税等還付税額	△1,687	—
少数株主損益調整前四半期純利益	13,158	16,059
少数株主利益	638	1,086
四半期純利益	12,519	14,973

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,158	16,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	215	370
繰延ヘッジ損益	△182	△765
在外子会社資産再評価差額金	△69	△69
為替換算調整勘定	902	9,885
その他の包括利益合計	866	9,420
四半期包括利益	14,024	25,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,264	24,215
少数株主に係る四半期包括利益	760	1,264

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営執行会議が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、世界本社として主に経営管理および商品開発を行っております。

当社グループは、主にスポーツ用品等を製造販売しており、国内においてはアシックスジャパン株式会社、アシックス販売株式会社、その他の国内法人が、海外においては米州、欧州・中近東・アフリカ、オセアニア/東南・南アジア、東アジアの各地域をアシックスアメリカコーポレーション、アシックスヨーロッパ B.V.、アシックスオセアニアPTY.LTD.、その他の現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」、「オセアニア地域」、「東アジア地域」は、主にスポーツ用品等を販売しており、「その他事業」は、ホグロフスブランドのアウトドア用品を製造および販売しております。

なお、「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、前第4四半期連結会計期間から報告セグメントの区分を変更しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	66,698	51,269	48,673	8,167	9,561	6,024	190,394	104	190,499
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	13,392	0	—	—	—	—	13,392	(13,392)	—
計	80,090	51,269	48,673	8,167	9,561	6,024	203,787	(13,287)	190,499
セグメント 利益又は損失	2,868	4,628	6,627	1,772	781	(63)	16,614	(217)	16,397

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない子会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない子会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位: 百万円)

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	65,909	70,299	66,382	10,827	16,645	7,921	237,986	272	238,259
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	16,055	—	—	0	2	—	16,057	(16,057)	—
計	81,965	70,299	66,382	10,827	16,648	7,921	254,044	(15,785)	238,259
セグメント 利益又は損失	909	8,165	7,915	2,442	1,360	(406)	20,387	3,162	23,550

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

### 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、国内の組織再編として、吸収分割および吸収合併により、平成25年1月1日付で、世界本社機能と日本事業を分離し、当社における日本事業をアシックスジャパン株式会社およびアシックス販売株式会社に移管いたしました。これにより従来「日本地域」に含まれていた当社および国内製造子会社の業績を調整額に移行させることで、「日本地域」には日本事業のマーケティング・販売機能の業績のみを反映させ、セグメント情報の有用性をさらに高めることといたしました。この組織再編に伴い、取締役会に報告する区分の見直しを行ったため、報告セグメントを上記のとおりに変更することといたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間についてセグメント売上高、セグメント利益又は損失の金額を、変更後の報告セグメント区分により収集していないため、これによる前第3四半期連結累計期間のセグメント利益を算出することは実務上困難であります。よって当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高、セグメント利益又は損失の金額に関する情報を、変更前の区分により表示すると次のようになります。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位: 百万円)

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	66,059	70,299	66,382	10,827	16,645	7,921	238,136	123	238,259
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	26,913	—	—	0	2	—	26,915	(26,915)	—
計	92,972	70,299	66,382	10,827	16,648	7,921	265,052	(26,792)	238,259
セグメント 利益又は損失	5,091	8,165	7,915	2,442	1,360	(406)	24,569	(1,019)	23,550

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない子会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない子会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

重要な事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

重要な事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項がないため記載しておりません。

4. 補足情報

(1) 連結分類別売上高明細表

(分類)		前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)		当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)		増減 (△は減)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
スポーツシューズ類	国内	36,098	19.0	38,752	16.3	2,654	7.4
	海外	109,247	57.3	146,538	61.5	37,291	34.1
	計	145,345	76.3	185,291	77.8	39,945	27.5
スポーツウエア類	国内	18,670	9.8	18,409	7.7	△260	△1.4
	海外	14,290	7.5	20,498	8.6	6,207	43.4
	計	32,960	17.3	38,907	16.3	5,946	18.0
スポーツ用具類	国内	8,777	4.6	9,084	3.8	306	3.5
	海外	3,415	1.8	4,976	2.1	1,561	45.7
	計	12,192	6.4	14,060	5.9	1,868	15.3
合計	国内	63,546	33.4	66,245	27.8	2,699	4.2
	海外	126,952	66.6	172,013	72.2	45,060	35.5
	計	190,499	100	238,259	100	47,760	25.1

- (注) スポーツシューズ類：ランニングシューズ、陸上競技・マラソン・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ベースボール・テニス等の各種競技用シューズ、ウォーキングシューズ、スクールスポーツシューズ、スポーツスタイルシューズ、ジュニアシューズ、キッズシューズ等
- スポーツウエア類：トレーニングウエア、アスレチックウエア、スクールスポーツウエア、ベースボールウエア、スイムウエア、スポーツスタイルウエア、アウトドアウエア等
- スポーツ用具類：ベースボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ等の各種用具、スポーツバッグ、スポーツネット、サポーター、陸上競技用機器等

(2) 地域別売上高

前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)

(単位：百万円)

日本	米州	欧州	その他	合計
63,546	51,289	52,984	22,678	190,499

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)

(単位：百万円)

日本	米州	欧州	その他	合計
66,245	70,310	71,450	30,253	238,259

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(3) 在外子会社為替換算レート

	USD	EUR	AUD	KRW	SEK
平成25年3月期第3四半期(円)	79.07	101.74	81.73	0.0694	11.68
平成26年3月期第3四半期(円)	95.61	126.14	93.52	0.0867	14.66
増減(円)	+16.54	+24.40	+11.79	+0.0173	+2.98
増減比(%)	+20.9	+24.0	+14.4	+24.9	+25.5

(注) 上記にて在外子会社の損益計算書を換算しております。

(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率

		日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア地域	東アジア地域	その他事業
売上高増減比(%)	(外貨)	—	+13.4	+10.0	+15.9	+39.9	+4.8
	(邦貨)	—	+37.1	+36.4	+32.6	+74.1	+31.5
セグメント利益増減比(%)	(外貨)	—	+45.9	△3.7	+20.5	+40.2	—
	(邦貨)	—	+76.4	+19.4	+37.8	+74.1	—
セグメント利益率(%)		1.1	11.6	11.9	22.6	8.2	△5.1